

鉄骨建て方実習を行いました

9月14日、4年建築学科の「鋼構造」の授業において、鉄骨骨組模型を使用した「建て方」の実習を行いました。実習にあたっては、鉄骨制作工場の技術者の方に指導いただき、学生自身が柱を立て、梁を繋ぎ、水平ブレースを取り付けました。

この模型は、実際の建物の1/3スケールの骨組模型であり、梁間1スパンで2400mm、桁行き2スパンで4800mm、階高が1階で1150mm、2階の最高高さまでが2170mmの2階建てであります。柱は100mm角のBOX柱であり、梁はH形鋼とし、接合部はF10Tの高力ボルトを使用しています。

学生は、最初はとまどっていたものの、慣れてくると手際よく組立てができるようになりました。

この実習を通じて骨組みの構成や、組立て方を体験でき、鉄骨構造の理解が深まったと思います。今後も、このような実習を継続していきたいと考えています。また、このことは、新聞にも取り上げていただきました。

